

【科目名】生化学		【担当教員】三ツ井 敏明、金古 堅太郎							
【授業区分】専門基礎分野 (リハビリ関連科目)	【授業コード】 2-14-0450-0-2	(メールアドレス)							
【開講時期】2・3年次 前期	【選択必修】選択	(オフィスアワー)							
【単位数】1単位	【コマ数】8コマ	来学時に対応							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 特になし (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし									
【講義概要】 (目的) 生化学は生命現象を化学的に解釈する学問であり、生理学や分子生理学を含めた他の多くの学問の基礎的立場にあるため、リハビリテーション医療学に必須な生化学の基礎を修得する。 (方法) 本講義では、細胞とそれを構成する生体物質の構造と機能、生体物質の代謝とその調節、遺伝子の構造と発現調節について解説する。									
【一般教育目標(GIO)】 ・理学療法士および言語聴覚士として従事する上で、必要となる臨床検査学の概要の修得									
【行動目標(SBO)】 ・教科書の記述を理解する。									
【教科書・リザーブドブック】 三輪一智・「系統看護学講座専門基礎(2)生化学」医学書院 2013年 ¥2,310									
【参考書】 なし									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は、本学学則規定の GPA 制度に従う。 試験 80% 受講態度 20%の割合で総合的に評価を行い 100 点満点で 60 点以上を合格とする。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		80	0	0	0	0	0	20	100点
評価指	取り込む力・知識	80	0	0	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造の力	0	0	0	0	0	0	0	0
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0

平成 26～28 年度入学者用

標	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	20	20
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法		学修課題(予習・復習)		時間(分)			
1	細胞の構造と機能	講義 (担当：三ツ井)							
2	生体分子の構造と機能 1 (糖質・脂質)	講義 (担当：金古)							
3	生体分子の構造と機能 2 (タンパク質・核酸)	講義 (担当：金古)							
4	代謝とその調節 1 (酵素)	講義 (担当：金古)							
5	代謝とその調節 2 (糖質・脂質代謝)	講義 (担当：金古)							
6	代謝とその調節 3 (エネルギー代謝)	講義 (担当：金古)							
7	遺伝子の複製・転写・翻訳	講義 (担当：金古)							
8	まとめ	講義 (担当：三ツ井)							

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。